

第42回 日本免疫学会学術集会 テクニカルセミナー (セミナー番号 T8)

世界初! Spectral Cell Analyzer と Th17 関連サイトカイン研究の最前線

日時 2013年12月13日(金) 12:00-13:00
会場 I 会場 (幕張メッセ国際会議場 3F 301)

座長 久保 允人 先生
東京理科大学 生命医科学研究所 分子病態学研究部門
理化学研究所 統合生命医科学研究センター
サイトカイン制御研究チーム チームリーダー

演者1 古木 基裕
ソニー株式会社 メディカル事業ユニット
ライフサイエンス事業部門

演者2 吉村 昭彦 先生
慶應義塾大学 医学研究科 微生物学・免疫学教室



ソニー株式会社はスペクトル解析機能を搭載した世界初の Spectral Cell Analyzer SP6800 を発売した。本講演の第一部では SP6800 の原理とともに、超多色解析、近接蛍光分離や自家蛍光スペクトル解析など SP6800 のみが可能である様々な機能をご紹介します。

第二部では Th17 関連サイトカインの最先端の研究状況をご説明する。Th17細胞は自己免疫疾患と関係が深く、Th17 を抑制する治療薬が期待されている。しかし IL-17、IL-22 は Th17細胞のみから産生されるわけではなく、マウス急性疾患では多くの場合 IL-17 は $\gamma\delta T$ 細胞、IL-22 は ILC3 から産生されることがわかっている。講演では、Th17細胞に完全に依存する乾癬モデルの紹介と、Th17細胞が病原性 Th17細胞と制御性 Th17細胞へ分化する過程を解析した試みをご紹介します。

●● 座長・演者紹介 ●●

久保 允人
東京理科大学 生命医科学研究所 分子病態学研究部門 教授
理化学研究所 統合生命医科学研究センター サイトカイン制御
研究チーム チームリーダー
Th細胞におけるサイトカイン制御やサイトカインによる皮膚恒常性
制御を中心に、ウイルスなどの感染症や炎症病態における Th細胞
の役割を明らかにする研究を進めている。またこれら Th細胞が
作られる分子メカニズムの解明を目指している。

吉村 昭彦
慶應義塾大学 医学研究科 微生物・免疫学教室 教授
T細胞や樹状細胞のリプログラミングを通じて炎症性疾患、免疫
アレルギー疾患など、免疫応答を制御した疾患治療を目指している。
免疫系、造血系、がんを中心に、細胞の運命決定機構およびシグナル
制御機構の分子レベルでの解明など“シグナル伝達とその制御”を
切り口に研究を進めている。